

放課後等デイサービス 自己評価表2022の結果について（職員からの回答文）

今回のアンケートの集計結果において、「どちらとも…」 「いいえ」、具体的な意見のご記入があった項目は、以下のようになります。

項目	内容（2020. 2月の結果）	どちらとも	いいえ	具体的な意見の内容
環境・体制整備	①職員配置の適正	2		もう少し広い空間があるとゆったり過ごせる。
	②適切な職員配置			
	③バリアフリー化			
	④PDCAサイクルに職員が参画できているか	2		
業務改善	⑤保護者へのアンケートを実施し業務改善	3		<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けアンケート結果を公表されるので、意向を知ることができる。 評価表を見たことがない。
	⑥自己評価の会報、HP等での公開	3	1	
	⑦第三者による外部評価	5	1	
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1		<ul style="list-style-type: none"> オンライン講義にて適宜。
適切な支援の提供	⑨適切なアセスメント、分析のもとに計画作成しているか	1		
	⑩標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		
	⑪活動プログラムの立案をチームで行ってるか	1		
	⑫活動プログラムを固定化せず工夫しているか			
	⑬平日・休日・長期休暇で課題を細かく設定して支援しているか			
	⑭個別活動・集団活動を組み合わせ計画を作成しているか			<ul style="list-style-type: none"> 入浴を主軸としている。
	⑮支援開始前の打合せと役割分担確認	2		
	⑯支援終了後、打ち合わせを行い役割分担について確認しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ノートに記入している。 月1で振り返り会、その日には難しい→ノートに記載している。
	⑰正しく記録する事の徹底、支援の検証・改善	1		
	⑱定期的なモニタリングと計画の見直し	3		
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせでの支援ができていますか	7		
⑳相談支援事業所の担当者会議で児に精通した最適者が参画しているか	1			

関係機関 保護者との 連携	⑲学校との情報共有、適切な連絡調整			
	⑳主治医との連絡体制	1		
	㉑保育所、幼稚園、児童発達支援事業所などの情報共有、相互理解	4	1	
	㉒卒業後、放デイ事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する際の支援内容の情報提供	2		
	㉓児童発達センター等の専門機関との連携、助言、研修	5		
	㉔放課後児童クラブ、児童館との交流、障がいのない子供達との交流。	3	5	コロナ禍。
	㉕（自立支援）協議会等への参加	5	3	
	㉖保護者との伝達、共通理解			
	㉗ペアレントトレーニング	5	1	
保護者への 説明責任等	㉘運営規程、支援内容、利用者負担のな説明	1		
	㉙子育て悩み、適切に助言できているか	1		
	㉚父母の会の活動支援、保護者会の開催など、保護者同士の連携	6	2	コロナ禍のため。
	㉛苦情について対応体制の整備、あった場合の迅速な対応			
	㉜会報発行、活動概要や行事予定等の情報発信	1		
	㉝障がい児、保護者への意思疎通や情報伝達における配慮			
	㉞行事に地域住民を招待、開かれた事業運営	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が「あいさつ」「これから仕事ですか？」と気軽に声をかけて下さるようになった（施設が新しいので）。 ・コロナ禍のため。
非常時 の対応	㉟緊急・防犯・感染マニュアルの策定・周知			
	㊱定期的な避難訓練	1		
	㊲虐待防止の定期的な研修			・虐待をしている職員を目撃したことはない。
	㊳身体拘束に関する十分な説明と了解	2		・身体拘束を必要とする事はない。

②食物アレルギーにおける医師の指示書	2		
③ヒヤリハット事例の事業所内での共有		1	

放課後等デイサービス 自己評価表2022の結果について（13名中、11名の保護者からの回答文）

今回のアンケートの集計結果において、「どちらとも…」 「いいえ」、具体的な意見のご記入があった項目は、以下のようになります。

項目		どちらとも	いいえ	具体的な意見の内容
環境・体制整備	①利用定員に対するスペースの適正	1		
	②職員配置の適正	4		
	④児や保護者を客観的分析した上で、計画が作成されているか	2		・現在、ニーズ・課題だけで計画を立てられないと思われる（コロナ等）。
適切な支援の提供	⑤療育活動の固定化しない為の工夫	1		
	⑥放課後児童クラブ、児童館との交流、障がいのない子供たちとの交流	5	6	・希望していません。 ・コロナ禍 ・現在、交流が難しい（コロナ）。
	⑦支援内容、利用者負担などの丁寧な説明	1		
保護者への説明等	⑧日頃の子供の状況を保護者へ伝達、発達状況や課題についての共通理解	1		
	⑨面談、育児への助言	2	1	・コロナ禍につき。
	⑩父母の会の活動支援、保護者会の開催など、保護者同士の連携	4	7	・希望していません。 ・コロナ禍 ・コロナ禍につき。
	⑪苦情対応、羞恥・説明・迅速か	3		・苦情を聞くことがないので。
	⑫子供、保護者との意思疎通、情報伝達のための配慮がなされているか	1		
	⑬活動概要、連絡体制等の情報や自己評価の結果を子供や保護者に発信しているか	1	1	
	⑭個人情報に十分注意しているか	1		
非常時の対応等	⑮緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルの策定・周知・説明	5		・しっかりされているとは思いますが、実際ちゃんとわかっているかと言われると、分かりません。なので、どちらとも言えません。
	⑯災害時に備え、定期避難訓練	3		・知りません。 ・しっかりされているとは思いますが、実際ちゃんとわかっているかと言われると、分かりません。なので、どちらとも言えません。
満足度	⑰子供は通所を楽しみにしているか			・多分。
	⑱事業所の支援に満足	1		

*上記以外の項目については、概ね「はい」の評価をいただいています。

2022年放課後等デイサービス自己評価表の結果をふまえての改善策

項目 ㊟…職員から ㊞…保護者から	2022年度の改善目標
環境・体制整備	㊟㊞職員配置の適正 配置基準は満たしている。
適切な支援の提供 (業務改善)	㊟自己評価の会報、HP等での公開、外部評価 毎年、アンケート結果・本年度の改善目標は保護者へ配布・実施している。外部評価については、どのように実施するのか、費用がかかるのか等、行政機関に確認し検討する。
	㊟標準化されたアセスメントツールを使用しているか 標準化されたものは概ね踏襲しているが、重心において、各々身体状況や原疾患も違い、個人個人に合った関りや目標設定、評価基準が大切と考える。感情表出が言葉として難しい部分があるがゆえに、支援者サイドがアクションを起こし、どういう反応を示してくれるか、その児その児の表情や動きをしっかりと観察していく事が重要と考えている。これらを踏まえ支援をしていく。
	㊟支援終了後、打ち合わせを行い役割分担について確認しているか 振り返りノートや、茶話会での話し合いで意見交換や各児への取り組み、関りをみんなで話し合っている。今年度は、よりディスカッションを深め、取り組んでいく。
	㊟ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせでの支援ができていくか 開所当初から、放課後等デイサービスガイドラインを遵守し支援活動を行っている。
関係機関や保護者との連携・説明責任等	㊟㊞放課後児童クラブ、児童館との交流、障がいのない子供達との交流。 コロナ禍にて困難。感染状況が改善した際、検討していく。
	㊟保育所、幼稚園、児童発達支援事業所などの情報共有、相互理解 コロナ禍にて困難。また、現在利用枠がなく、対象となる案件がない状況。
	㊟児童発達センター等の専門機関との連携、助言、研修 コロナ禍にて困難。感染状況が改善した際、他事業所への研修等、実施していけたらと考える。
	㊟（自立支援）協議会等への参加 オーバーワークに繋がる事が懸念され、業務上ゆとりができる状況が整えば検討していく。
	㊞父母の会の活動支援、保護者会の開催等、保護者同士の連携 各保護者様の様々な考え方があり、今後の検討課題とする。
	㊟ペアレントトレーニング 今後、様々な研修や勉強会に参加し、少しでも保護者に有益な情報提供・助言ができるよう取り組んでいく。
	㊟事業所行事に地域住民を招待、地域に開かれた事業運営 平素の利用児者への支援に注力している事でなかなか難しい課題。事業の運営において、節目で地域住民と交流が深められたらと考え、今後の検討課題とする。

非常時 対応	Ⓔ緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 対応マニュアルの策定・周知・説明	今年度も各種マニュアルについて保護者に配布し、周知を図る。
	Ⓔ災害時に備え、定期避難訓練	→毎年、7～8月の間に、生活介護・放デイ合同で避難訓練を実施（活動予定表にも記載）。地域の防 災訓練への参加も、可能であれば参加を検討していく。